
地上で生きる人魚娘

千嶋桂華

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

地上で生きる人魚娘

【Nコード】

N3285P

【作者名】

千嶋桂華

【あらすじ】

「私の王子様……って何処に居るの？」恋に恋する16歳の人魚娘は、御伽噺のような完璧王子を探して尾びれを捨てた。

典型的な田舎人魚が地上に出てみるとどうなるか？1年の期限付きで地上に暮らせることとなった少女シャルロツテは、両親姉妹&近所の魔女に与えられた断片的な知識だけで地上の男たちの中から彼女の『王子様』を見つけ出さなければいけない！もし1年以内にできなければ……。基本どたばたコメディ

ー 恋愛要素？何それおいしいの？

プロローグ く恋に恋するお年頃く

ちやぶちやぶと打ち付ける波が、私の足から砂を洗ってゆく。

今宵二つの大小異なる月は、1年に1度のW満月

ついでに言う今日は大安。更に言えばうお座は運勢堂々1位
まあ何かいいことがありそうな日なただけど……

「はあ……。」

波打ち際で不満げなため息をつく私には、全くいいことの前触れさえ起きていなかった。

ああ王子様 王子様

待って私を置いてかないで

どうしてなの 私の声が出ないからなの

ああ王子様

可哀相な人魚姫

その美しい髪も輝く瞳も愛らしい笑顔も

全てが泡となってしまった

王子様は今頃隣国の皇女と幸せな結婚式

可哀相に 可哀相に

でも大丈夫人魚姫

貴女の行いは神様が見てらっしゃった

大丈夫人魚姫 いつかまた

「王子様に会えるわ・・・か。」

どこかの幼い子供か夢見すぎてる乙女が作ったような稚拙な歌の最後
この言葉をずっと信じてきた私は
一体どこまで救いがたい馬鹿なんだろう。

「何でこんなことしちゃったかな。」

歌や童話を信じ、いつか自分のそばにも王子様がおぼれてくるのだ
と期待し

私は王子様の心を射止めてみせるんだーなんて大言壮語して。

そして16歳になった今日、私はついに堪えきれず

自分たちの誇りである、あの尾びれを 捨てた。

御伽噺の人魚姫と同じように。

御伽噺の人魚姫とは全く違うように。

魔女は怖くない綺麗な女の人だった。

薬を飲んでも痛くもかゆくも無かったし、

姉や妹たちはあっさりと送り出しやがった。

それに私には

「王子と呼ぶべき人が居ない。」

まだまだ私は、恋に恋する乙女（笑）なのだ。

其の壱 お姉様が見てる（遠くから）（前書き）

プロローグからかなり時間経ってますが第1話です。

わーおまだこの小娘海の中に居るよ。はやく地上出るや

最初のほうは場面転換が続く上に内容も薄いので

一話一話が十分短いです。すみません。

其の壱 お姉様が見てる（遠くから）

「あぁっ王子様！」

海からふわふわと降りてきたその黒っぱい何かに向かって、突撃！

「大丈夫ですか王子様！？」

返事が無い、ただの……

よくよく見れば、私の元に降りてきたそれは
味噌汁の具の代表選手とも言つべき海藻……

ただのわかめのようだ。

「ふざっけんじゃないわよっ！！」

普通ふわふわとしか動かないはずの海藻キングをすごいスピードで
海底に叩きつける花の16歳

|| 私

やべっ、わかめじゃなくて昆布だった。

あっ……どうもこんにちは、私の名前はシャルロツテといいます。
……何よ、何みてんのよあんだ。

名前負けしてるだとか両親の愛が重すぎたとかよく言われる名前

「ただ、別に私そんな不細工なわけじゃないでしょう!？」
「ただ名前が若干王侯貴族っぽいだけじゃない!何よこっちは見ないでよ!！」

「ロツテ、静かになさい。」

静かな落ち着いた声と共に現れた青髪の美女。
私の自慢の長姉であるフィネ・クラインシュミット

「全く・・・海藻に叫ぶ妹を眺めるほど悲しい行為は無いわね。」

「うっ、フィネ姉さま。ごめんなさー・・・」

「って!ロツテって呼ぶのやめてって言ったでしょ!！」

「そうだ、私の名前はシャルロツテ。長い。」

「よく略されて呼ばれるのだが・・・」

「16年間『ロツテ』は嫌だといいい続けているのに!」

「何よ、可愛い名前じゃない。」

「嫌よ!なんだか某お菓子メーカーみたいじゃない!」

「安心なさい、こんな海の底にまでチョコパイを売りに来るセールスマンは居ないわ。」

「全然安心できないって!」

「ていうかチョコパイって固有名詞だったりしないよね!?!流石に海の底にまで著作権会社来ないよね!？」

「もーフィネ姉のせいで早くも命と存在の危機にさらされてるじゃない!！」

「私時々貴女の言いたいことが分からないわ。」

千代作兼戒舎つて何？ とか何だか厳しそうでそうじゃない名前に聞き間違える姉さま。

しつかり天然ボケという高得点競技をクリアしつつ冷静につっこむのはやめて。

そして少しはなれたところで他人のふりをするのはやめて。

実の姉のくせにこの完全ボケ体質の妹を見捨てるってのかこの薄情者め。

「いくら血の繋がりがあれど、支えきれないことだってあるのよ。」

「そんなに！？そんなに私のボケって面倒なの！？」

「いいえ、貴女に責任があるわけじゃないの。心配しなくていいのよ……。」

「何深刻そうな雰囲気出してるの！？ていうか何このBGM！」

あおーげばーとおーとしー

「（生物からの）卒業、おめでとう。」

「やめて！私はまだ有機物でいたいわ！」

其の壱 お姉様が見てる（遠くから）（後書き）

これだけ読んでおけば本文は読まなくてオッケー！

（第1話のまとめ）

『ロツテ、卒業おめでとう』

はい！これだけ！今日の話の内容はこれだけ！！（嘘）

さてさて・・・この話これからどうしようorz

ノープランで突っ切っております

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3285p/>

地上で生きる人魚娘

2011年1月28日09時26分発行